

内子小児童の作品を 公演ポスターに採用

劇団「オーガンス」

内子座を舞台に活動している劇団「オーガンス」(徳田幸治代表)の第14回定期公演が内子小学校創立140周年記念事業の一環として開かれることになり、同校の高学年児童を対象に公演ポスターの募集が行われました。

劇の題名は「テツオくんは幸せだったんだ」。「あるところに、それは



1 最優秀賞＝久保貴史くん(前列中央)、優秀賞＝松本奈々美さん(同左)、佐野あかりさん(同右)。7月20日に行われた表彰式で撮影 2 審査の様子

それはおそろしく、みにくい怪物がいました。」で始まる物語をイメージして、87の想像力豊かな作品が寄せられました。最優秀賞に選ばれた久保貴史くんは「自分の作品が本当にポスターになるのがうれしい」と話していました。

同公演は10月9日(日)に内子座で開かれ、全応募作品が展示されます。

災害支援協力を約束

愛媛ゴルフ株式会社

内子町(稲本隆壽町長)と愛媛ゴルフ株式会社(弓崎憲明代表取締役社長)は7月21日、「災害支援協力に関する協定」を結びました。

これより、大規模災害が発生した場合は、町民の安全確保を目的に愛媛ゴルフ倶楽部の施設を緊

急災害支援として利用し、被災者の収容や食事場所の提供などが行われます。

締結に当たって弓崎社長は、「ゴルフ倶楽部が開場して36年。地元の方々に少しでもご恩返しできれば」と語っていました。



協定書を手を。右が弓崎憲明代表取締役社長

東北に元気を届けたい 被災地で和太鼓演奏

内子高校郷土芸能部

東日本大震災で被災した地域に元気を届けたいと、内子高校郷土芸能部(竹田真由美顧問)は7月29日、岩手県大槌町の災害支援拠点施設で和太鼓演奏を披露しました。

同演奏会は、部員たちの強い希望により、7月

27、29日にかけて岩手県で開かれた「第35回全国高等学校総合文化祭」への出場に併せて実施。「全国大会に出たこと以上に貴重な経験だった。これからも自分たちでできることをしていきたい」と話していました。

ありがとう、イングリッドさん こんにちは、メラニアさん

内子町外国語指導助手が交代



外国語指導助手として3年間勤務したイングリッド・レザーさんは7月26日、町長室を訪れ、稲本隆壽町長に任期終了に伴う退任のあいさつをしました。

イングリッドさんは、「最初は日本語が分からなくて不安もあったけれど、みんな明るく親切で、とても楽しい3年間でした。この3年間は本当に忘れられません。皆さんありがとうございました」とお礼を述べました。今後はドイツで生活す



1 退任あいさつの後、稲本町長と握手を交わすイングリッドさん 2 新しく赴任したメラニアさん

るといふことです。

また後任として8月4日、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ出身のメラニア・ジュスフさんが着任しました。

メラニアさんは、「内子町は自然が豊かで、その美しさに驚きました。周りの人も親切な人ばかりで、これからの生活が楽しみです。頑張って内子町の教育の向上に貢献したいです」と意気込みを語っていました。

今後、主に内子中学校と大瀬中学校で指導を行う予定です。

ドイツ・ローテンブルク市との姉妹都市盟約締結事業派遣団(稲本隆壽町長)の壮行会は8月17日、内子自治センターで行われました。

メンバーは、内子町国際交流協会のプランナーや内子手しごとの会の会員、行政関係者など18人。派遣期間は8月28日～9月6日の10日間で、姉妹都市盟約の調印式や植樹などの記念行事に出席します。

またこれに併せて、同

市庁舎で、内子町の四季折々の風景などを写した写真展、同市との交流の歴史の紹介、工芸作品の展示やワークショップなどを行い、広く内子町をPRする予定です。

団員は「ローテンブルクで感じたことを今後のまちづくりに生かせるようにしたい」「文化が異なるところで自分たちの作品がどのように受け止められるのか楽しみ」など、それぞれに抱負を持って旅立ちました。

姉妹都市盟約を結ぶ ローテンブルク市へ

姉妹都市盟約締結事業派遣団壮行会



稲本隆壽町長(前列右から3人目)をはじめとする派遣団の皆さん